

Labo Love Japon ~ 厨房から愛をこめて ~

「商い」とは、ものやサービスの代償としてお金をとる経済活動だ。しかし、手にしたお金の使い道は人それぞれ、自らの財をなす「商い」もあれば、それを人や社会に還元させる「商い」もある。日本と心をともにすべく集った、フランスの菓子職人たちが示す「商い」のかたちを紹介する。

菓子職人、集結する

二〇一一年三月一日。日本と八時間の時差があるパリで、大震災のニュースを知ったのは、仕事の最中でした。インターネットで日本から配信される、現実の世界とは思えない状況を目の当たりにし、約一万キロも離れたパリにすることを、これほどでもどかしく思ったことはありません。パティシエール(菓子職人)のわたしにできるのは、被災者の方々に、甘くておいしいお菓子を届けることではないか? しかし、日本まで足は運べない。それなら、お菓子を作ってフランスで販売して、「お金」を集めよう。そう考えて、早速、友人の食ジャーナリストの千秋さん、フランス在住日本人菓子職人の協会 Le Pont des Artisans のアントニさんに相談し、すぐに賛同をえました。友人の一人、夕子さんが、わたしたちのグループに名前とロゴを与えてくれました。Labo Love Japon(以下 L L J)。

集まりました。

いよいよ当日です。慣れない販売作業でしたが、会場の外まで行列ができるほどの大盛況で、予定の一時半前の完売でした。総収益は五四五九ユーロ(約六二万円)にのぼり、予想以上の成果に一同驚かされました。これを皮切りに震災者支援のチャリティー販売が続きました。

四月上旬には、衣服や写真の展示会のオープニングや天理日仏文化会館の一部を借りての販売があり、四月下旬には、震災後に結成された、ファッション関係のパリ在住日本人グループ Hope & Love for Japan が主催するチャリティーバザーにも参加しました。最高三時間の入場待ちという盛況ぶりでした。このときから、紙の彫刻家の Shoko さんが、スタンドのデコレーションを担当してくれることになりました。

そして五月には、パリ10区での地区活性化イベント、六月には、芸術を通じて被災地支援をおこなっている団体 Japonaide にさそわれ、パリ2区のアーケードでのイベントで販売する機会をえました。そして七月には、子ども服や子ども用品の展示会 Playtime に、チャリティーショップが設置されました。同展がおこなわれたニューヨークや東京でもチャリティーがおこなわれ、わたしたちが作ったオリジナルのクッキーも海を渡りました。

夏のバカンスの終了後は、スイートのイベントとしては世界最大級ともいえるチョコレートの展示会 Salon du Chocolat への参加です。期間中は、メインスタージで L L J の活動を紹介する機会にも

「Labo」は厨房を意味する「Laboratoire」から。要するに厨房で働くみんなは日本が大好き!「厨房から日本に愛をこめて」ということです。

次々に広がる支援の輪

すぐに、チャリティー販売をおこなう会場探しをスタートし、パリの日仏文化センター Espace Japon で三月二六日の開催が決定しました。菓子提供の依頼、参加表明者との調整、情報のまとめリストやロゴの作成など、L L J のなかに自然と役割分担ができ、次々と計画が進んでいきました。宣伝活動、お菓子を作る場所と材料の提供などの面で、メンバーが幅広い人脈や職場の協力によって計画を進めました。販売の前々日に、有志の手でお菓子をラッピングし、ようやく前日に友人の車で会場に納品しました。なかには、会場に直接お菓子を送ってくれた人もおり、みんなの熱い気持ち

恵まれ、L L J のロゴ入りパッケージの板チョコを提供してくれたボナさんも登壇しました。自身の店を東京にもつボナさんは、日本での震災体験について語り、みんなが被災者への思いをあらたにしました。また、L L J は「和素材で日本を支援」と題した講演もおこない、フランスと日本の製菓業界の強い結びつき、そして何よりも懸念されている、日本からの輸入食材の安全性について説明しました。こうして、五日間であつまった約一万七〇〇〇ユーロ(約一八〇万円)のお金は、日本洋菓子協会連合会とおし、被災地の製菓業界再建に役立ててもらうことになりました。

目的にふさわしく「商う」

「商い」は、「もの(目に見えないものでも)」を販売し、その代償に「お金」をいただくこと。わたしたち L L J は、この「商い」をとおし、えた「お金」で日本への支援をおこないました。わたしのフランス人同僚がいました。「これが日本人の精神なのねえ。あれだけの災害。みんな、何もなくても募金するわよ。でも、治代は、ただお金だけ受け取るのよ、気が引けるのよね」と。わたしの気持ちはすっかり見抜かれていました。

L L J は今後、A S F J A (日仏食文化交流の会)の傘下として、より目的を絞った支援を続けていきます。もちろん、おいしくて、心あたたまるお菓子を手に……。

I love Japan のメッセージクッキー



L L J メンバーの集合写真



真剣なまなざしでお菓子を選ぶフランス人 (Hope & Love for Japan が主催するチャリティーバザーにて)



初めての販売 (Espace Japonにて)



歩道にチョコで記した宣伝文句。「日本のためのお菓子販売」

目玉商品 L L J クッキー



L L J のロゴ



心をこめて作られたお菓子たち